

若手研究者等フェローシップ(2011)

2011年度若手研究者等フェローシップ《日本人研究者》派遣者・《ロシア人研究者》招聘者が選考の結果決定しました。派遣者(日本人フェロー)・招聘者(ロシア人フェロー)のリストは下記の通りです。
※ 掲載のデータは応募申請時のものです。

2011年度若手研究者等フェローシップ《日本人研究者》派遣者リスト(6名)							
氏名	所属機関	役職等	受入先機関	専門	研究課題	研究成果物など	滞在記
松下 隆志	北海道大学大学院文学研究科	博士課程	ゲルツェン・ロシア国立教育大学(サンクトペテルブルク)	現代ロシア文学	ゼロ年代以降の現代ロシアにおけるポストモダン文学研究	<p>ウラジーミル・ソローキン(望月哲男・松下隆志訳)『青い脂』河出書房新社、2012年など</p> <p>【著述】 「腐ったブリド：混沌を見据える言葉」『WASEDA bungaku FreePaper』第25号、2012年、15頁 http://www.bung...</p> <p>「ロシアのポストモダン文学の現在：ナショナルな欲望との戯れ」『現代ロシア文学とスターリニズム(II)』稚内北星学園大学、2013年、13-34頁</p> <p>【学会報告】 「現代ロシア文学における社会主義リアリズムの機能とソ連イメージの変容：V・ソローキン『マリナーの三十番目の恋』とM・エリザーロフ『図書館員』をめぐって」日本ロシア文学会第62回研究発表会、2012年10月</p>	滞在記
安達 大輔	北海道大学	日本学術振興会特別研究員	ロシア国立人文大学(モスクワ)	ロシア文学	ロシア・ロマン主義文学における文学ジャンルとしての「告白」	<p>【地図と道のあいだ:ゴゴリの語りにおける反省の空間】『SLAVISTIKA』第28号、7-27頁、2013年3月。</p> <p>【論文】 1) 「回想される絵、憑依する声：牧歌の時間とゴゴリの『古風な地主たち』」『日本18世紀ロシア研究会年報』第8号、20-35頁、2012年8月。</p> <p>【未刊行論文】(博士号学位請求論文) 2) 「痕跡を生き直す:ゴゴリの記号システムにおける反省の諸問題」東京大学大学院人文社会系研究科博士号学位請求論文、2013年5月13日提出、2013年9月25日公開審査(予定)。</p> <p>【口頭発表】</p>	滞在記

						3) 「身振り表現から考える公と私:カラムジンと18世紀ヨーロッパの思想家」第10回日本18世紀ロシア研究会研究発表会(共通論題「18世紀ロシアにおける「公」と「私」を論じる」)、東京大学、2012年9月25日。	
	北海道大学大学院 文学研究科	博士後期課程	カルムイク国立大学	ロシア史	ロシア帝国の国家統合における仏教僧侶の役割	「モラヴィア派入植地サレプタ:カルムイク人との交流と宣教師の記録」『文化空間としてのヴォルガ』(スラブ・ユーラシア研究報告集 No.4)、スラブ研究センター、2012年、25-34頁。(2012年3月掲載)	
井上 岳彦						1) Такэжико Иноуэ, О разработке ""Положения об оспопрививании в калмыцких улусах (1839 г.)"" (по материалам переписки И.С. Тимирязева и П.Д. Киселёва), 2012. (2012年5月掲載) 2) Takehiko Inoue, ""Transition between Medicine and Orientalism: Medical treatments of the Kalmyk Buddhist monks in the nineteenth century Russian Empire,"" Evgeny Steiner, ed., Orientalism / Occidentalism: Languages of Culture VS Languages of Description, Moscow: Sovpadenie, 2012, pp 165-177. (2012年7月出版) 3) 井上岳彦「仏教徒コサックの教団と権力」日本中央アジア学会年次大会(松崎町商工会会議室、2013年3月28日発表) 4) 井上岳彦「カルムイク人はどのように定住化したのか:帝政期とソ連初期について」北海道中央ユーラシア研究会(北海道大学スラブ研究センター、2013年7月13日発表) 5) Takehiko Inoue, ""A Buddhist World View: Perspectives of the Kalmyk Elites in the Russian Empire,"" The Fifth East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (大阪経済法科大学、2013年8月9日発表)	滞在記
大谷 育恵	金沢大学大学院 人間社会環境研究科	博士後期課程 学生	国立ノヴォシビルスク大学 人文科学部東洋学科	考古学	北方草原地帯東部における考古学資料をもとにした文化の伝播に関する研究	「飛馬文帯再考」『金沢大学考古学紀要』34号, 2013年, 頁11-19 1.研究会 ポスター “Earring - focusing on the xiongnu age in Mongolia”, Ancient Cultures of Mongolia and Baikalian Siberia, 2012.9.5-9.9, Ulaanbaatar, Mongolia 2.研究論文 「飛馬文帯再考」『金沢大学考古学紀要』34号, 2013年, 頁11-19	滞在記
森下 信子	東京大学大学院 人文社会系研究科 アジア文化専攻イスラム学科	博士論文執筆中	ロシア科学アカデミー 東洋写本研究(サンクトペテルブルク)	イスラーム学、アラビア語写本学	古代末期から初期イスラームへの思想伝播に関する文献学的研究-ロシア連邦におけるアラビア語・ペルシア語写本から-		滞在記
渡辺 裕美	筑波大学大学院 人文社会科学研究科 国際地域研究専攻 日本語教育研究コース	博士前期課程	モスクワ市立教育大学	日本語教育	ロシア語母語話者の日本語音声に対する一般日本人と教師の評価	「発音評価の相違-日本人教師・ロシア人教師・一般日本人の比較から-」 発表先: 2013年度日本語教育学会春季大会(ポスター発表) 日付: 2013年5月16日	滞在記

2011年度若手研究者等フェローシップ《ロシア人研究者》招聘者リスト(8名)

氏名	現職(所属機関)	受入先機関	研究専門分野	研究テーマ	滞在記

ニマツィレノヴァ・リュボフィ	東シベリア国立大学 食品技術・バイオテクノロジー研究所	上級講師	鹿児島大学 農学部 生物資源化学科	バイオテクノロジー	Identification, levels and distribution of lectins in vegetable milk	Report
ズロービン・ゲルマン	極東国立交通大学	大学院博士課程	(独) 土木研究所 寒地土木研究所	地質工学 地床学 凍土学	The research of seismic influence on transport structure stability (on a tunnel example), and studying of the methods of reliable tunnel construction	Report
アキモフ・アントニーナ	ユジノサハリンスク国立大学文学部 ロシア・外国文学科	大学院生	筑波大学 人文社会科学部 科学研究科	文学論 本文批評	The genre of documental diary, its ideological and topical content (based on the "Diaries" of Nicholai Kasatkin (Nikolai of Japan))	Report
ボブロヴァ・オリガ	サンクトペテルブルク国立経済金融大学	上級講師	京都大学 経済研究所	経営管理 企業の社会的責任	Comparative Study of the Corporate Social Responsibility in Japan and in Russia	Report
フィルソヴァ・ヴァルヴァラ	ロシア科学アカデミー 図書館	ジュニア・リサーチ・アシエイト	国立民族学博物館 文化資源研究センター	情報学	日本における外国人コミュニティの形成・南アジアからの移住と日本の多文化主義	Report
ロイバ・エカテリーナ	オレンブルク国立大学 理学部	大学院博士課程	広島大学 原爆放射線医科学研究所	微生物学	Effects of magnesium isotopes on DNA synthesis and repair processes after ionizing irradiation	Report
ムヒナ・サルダアナ	サンクトペテルブルク国立大学大学院修了	研究者	北海道大学 スラブ研究センター	経済学	Russia-Japan: Trends in the field of economy and energy	Report
ヴォロンツォフ・ドミトリー	ロバチェフスキー・ニジニ・ノヴゴロド国立大学	若手リサーチャー	北海道大学 低温科学研究所	凝縮計物理学	Effects of antifreeze protein on the growth kinetics of ice crystals	Report